

ポーラ、「女性のエンパワーメント原則（WEPs）」に署名 ダイバーシティ推進を強化し、社会の持続的な発展に貢献

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：及川美紀）はこの度「女性のエンパワーメント原則（WEPs）」に署名いたしました。「女性のエンパワーメント原則（Women's Empowerment Principles、以下「WEPs」）は、2010年3月に、国連グローバル・コンパクト（GC）とUN Womenが共同で作成した、女性の活躍推進に積極的に取り組むための行動原則です。ポーラはこの原則を遵守していきます。

■ WEPs (Women's Empowerment Principles)

国連、企業の自主的な盟約の枠組みである国連グローバル・コンパクト、国連婦人開発基金（UNIFEM）（現UN Women）が2010年3月に共同で作成した原則。

- 1) トップのリーダーシップによるジェンダー平等の促進、
 - 2) 機会の均等、インクルージョン、差別の撤廃、
 - 3) 健康、安全、暴力の撤廃、
 - 4) 教育と研修、
 - 5) 事業開発、サプライチェーン、マーケティング活動、
 - 6) 地域におけるリーダーシップと参画、
 - 7) 透明性、成果の測定、報告、
- の7原則で構成されている。

今回の署名に際し、社長・及川のインタビューが、UN WomenのWE EMPOWERプログラム公式サイト、WEPsやWE EMPOWER 公式ツイッター、UN Women日本事務所Facebookにも掲載される予定です。

WEPs署名企業 紹介URL

<https://www.weps.org/company/pola-inc>

及川インタビュー#WeCommit 動画

<https://www.empowerwomen.org/en/resources/videos/2020/09/wecommit-pola-inc-president-discusses-the-importance-of-womens-empowerment-and-leadership?lang=en>

現在、ポーラの女性役員の割合は約40%、女性管理職の割合は約30%を占めます。育児休暇制度やテレワークをはじめとした人事制度の推進に加え、意欲と能力のある女性従業員の活躍の場の拡大や管理職への登用、公平性ある人事評点など、性別やライフステージに関わらず、一人ひとりの能力を十分に発揮できる環境づくりを推進しています。

さらに、全国各地域に存在するビューティーディレクター*の数は約41,000人にのぼり、20代～100歳以上と幅広い年代が個人事業主として活躍。スキルや売上のみならず、社会性・人間性を育みながら自分の可能性を広げ、多くの人や社会に影響を与えるビジネスリーダーを輩出しています。

ポーラは本年6月、誰もが「美しく生きる」ことができる社会を目指す「サステナビリティ方針」を策定し、2029年までのSDGsの目標数値を定めました。ゴールのひとつとして、『ジェンダー、年齢、地域格差、様々な「壁」の解消』を掲げています。今回の「WEPs」への賛同と署名を機に、女性のエンパワーメント及びダイバーシティ推進をさらに強化し、全ての人々が活躍できる社会を創造することで、持続的な社会への貢献を目指します。

*ビューティーディレクター：全国に展開するポーラのショップの中で、カウンセリングやエステなどをはじめとした美容を通じてお客さまのありたい姿を引き出し価値を提案する、プロフェッショナルな販売員。

【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ コミュニケーション戦略部 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3

TEL：03-3494-7119 FAX：03-3494-6198

【お客さまからのお問い合わせ先】

ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111

【ポーラ 2029年 サステナビリティ方針 目標】

社会 ジェンダー、年齢、地域格差、様々な「壁」の解消



- ①地域起業オーナー数：月商500万円以上のショップオーナー※を1,200人まで増やし、組織力が高い組織を拡大する。
- ②地方自治体（NPO・NGO含む）との協業件数：28件。協業から生まれる新しい価値を地域に還元。
- ③地域の中でロールモデルとして認知されるショップオーナーの数：110人。



- ①女性管理職比率：総合職従業員の男女比率と同等にする。
- ②美容職のダイバーシティの推進：ジェンダーのみならず、障害者・グローバル対応を推進する。
- ③育休取得率：男性・女性ともに、100%取得。



事業としての協業の拡大：全国協業実施へ。

経済 多様な人が、健康に、イキイキと活躍する機会の創出



- ①健康事由での退職者を限りなくゼロへ：がん罹患による退職者 0人
- ②アピアランスケアを理解し、各ショップ・コーナーの責任者または主力ビューティーディレクター※・ビューティーコーディネーター※が適切にアドバイスできる状態にする。
- ③ビジネスパートナーの健康診断受診率：80%へ。段階的に受診率や再診率を上げる。



- ①60歳以上のビューティーディレクターの数を増やす。（2019年12月現在：合計 11,894名）
- ②疾病・子育て・介護等で時間に制約がある人も働きやすい体制を整える。自由で自分らしい働き方を提供することで、一人ひとりが高いパフォーマンスを発揮し、生産性・創造性の向上を目指す。



外部パートナーとの連携や、働き方改革から、新しい価値を創出。

環境 未来に、次世代に環境をつなぐアクション



- ①スコープ1・2でCO2排出量を26%にする。
- ②お客さまへの新たな価値提供の実現を前提としながら、同時に、環境に配慮したサービスを提供する。



RSPO認証パーム油使用率：100%

※ショップオーナー：全国の地域でポーラショップを経営するオーナー

※ビューティーコーディネーター：百貨店ポーラコーナーで、カウンセリングをはじめとした美容を通じてお客さまの
ありたい姿を引き出し価値を提案する、プロフェッショナルな販売員。



FAIRY JAPAN
POLA

ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表「フェアリー ジャパン POLA」の
オフィシャルパートナーです。